

オゾンには強力な酸化力を持ち、殺菌作用に優れているため、ウイルス除去に効果を発揮します。また、気体でも使用できるので部屋の隅々まで行きわたり、ウイルスをしっかりと除去できます

## ウイルス不活化試験

### ①奈良県立医科大学調べ

対象ウイルス	CT値：濃度×時間(min)	不活化結果
新型コロナウイルス	330 (6ppmで55分)	1/1,000~1/10,000
	60 (1ppmで60分)	1/10~1/100

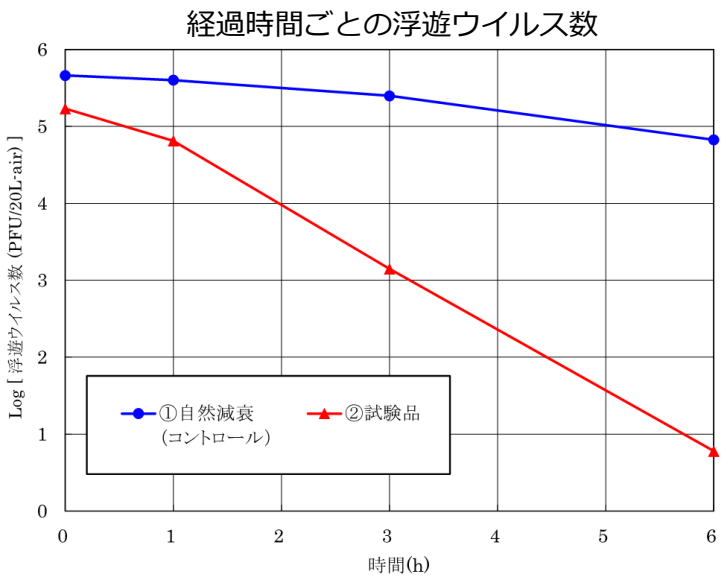
### ②藤田医科大学調べ

対象ウイルス	オゾン濃度	湿度	ウイルス感染性			
			CT値：0	CT値：24	CT値：42	CT値：60
新型コロナウイルス	0.1ppm	80%	100%	27%	13%	4.6%
	0.05ppm	80%	100%	39%	18%	5.7%
	0.1ppm	55%	100%	53%	46%	32%

→0.1ppm (湿度80%) 処理ではCT値：60 (10時間後) で4.6%までウイルス感染性が低下

### ③北里環境科学センター調べ

- ・対象ウイルス：大腸菌ファージ
- ・試験空間：25m<sup>3</sup>
- ・オゾン濃度：0.05ppm
- ・ウイルス噴霧方法：ウイルス液を0.2mL/minで10分間噴霧し浮遊させる
- ・オゾン発生器：オーニット製「エアフィーノVS-50S」



※オゾンにはウイルスを不活化する効果がありますが、感染の予防を保証するものではありません